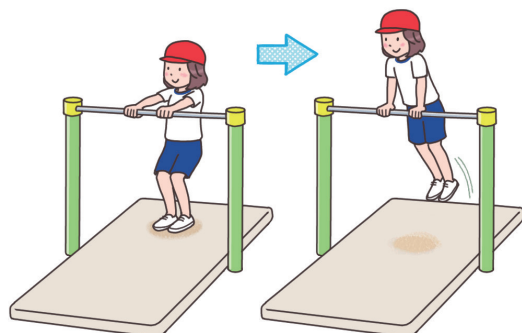


【資料① 「鉄棒を使った運動遊びの行い方」と「運動遊びが苦手な子供への配慮の例」】

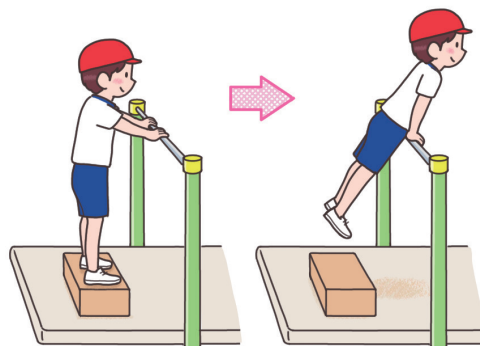
運動遊びの行い方

運動が苦手な子供への配慮の例

○跳び上がり



肘を伸ばし、跳び上がって、胸を張るようにする。

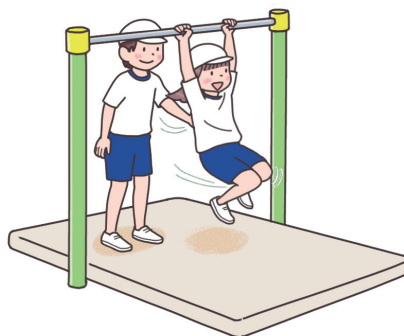


跳び上がることが苦手な子供には、台などを設置して、支持や跳び上がりなどを行いやすい場を設定するなどの配慮をしましょう。

○さる



手でぶら下がったり、揺れたりする。



体を揺らすことが苦手な子供には、腕や頭を動かして反動をつけたり、補助を受けて体を軽く揺らしたりして、揺れるための体の動かし方が身に付くようにするなどの配慮をしましょう。

○つばめ

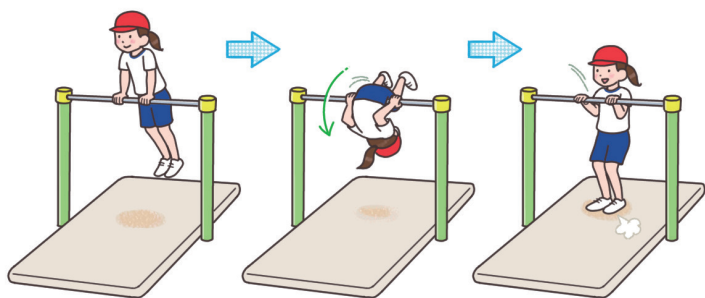


体を伸ばしてバランスをとる。



鉄棒上で支えたりバランスをとったりすることが苦手な子供には、支持しているときの目線の先を示して、バランスをとる動きが身に付くようにするなどの配慮をしましょう。

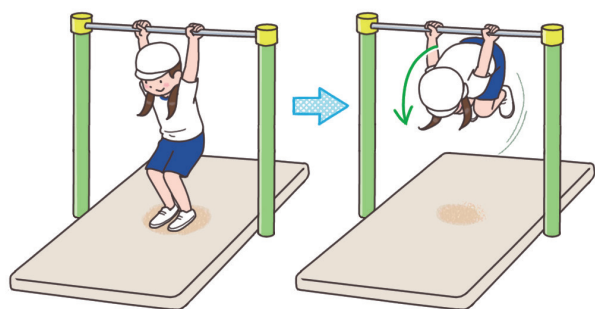
○前回り下り



支持の姿勢から体を丸めて前に回って下りる。



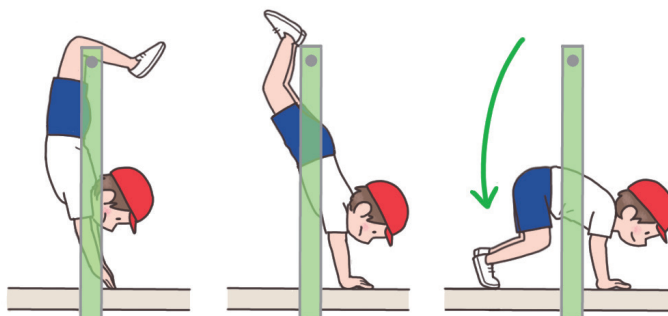
○足抜き回り



両手でぶら下がって足を小さくして、胸に引き付けるように前後に足抜き回りをする。

回転することが苦手な子供には、腹を掛けて揺れたり、補助や補助具などを使って回転したりして、体を丸めて勢いよく回転する体の動かし方が身に付くようにするなどの配慮をしましょう。

○こうもり



鉄棒よりも前に手を着き、足を下ろすことで安全にこうもりから下りることができます。